

平成 27 年 10 月定例教育委員会会議録

1. 日 時 平成 27 年 10 月 22 日（木）午後 2 時 30 分～午後 3 時 35 分

2. 場 所 職員会館 2 階 大会議室

3. 出席者

委員長 谷口 馨 委員長職務代理者 野口 和江 委員 中野 俊勝
委員 川岸 靖代 教育長 樋口 利彦

4. 事務局出席者

教育総務部長 西川 照彦 学校教育部長 須賀 俊介 生涯学習部長 松阪 正登
総務課長 大西 謙次 学校管理課長 古谷 利雄 学校教育課長 松村 慎治
人権教育課長 阪本 美奈子 理事兼スポーツ振興課長 直 清司
郷土文化室長 小堀 頼子 図書館長 玉井 良治
産業高校教頭（全日制） 汐崎 可寿美 生涯学習課参事 西尾 征樹
総務課参事 高井 哲也

開会 午後 2 時 30 分

前回会議録について承認された。本会議録署名者に野口委員長職務代理者を指名した。
傍聴人 1 名。

○谷口委員長

ただいまから、10 月定例教育委員会会議を開催します。

報告第 62 号 平成 28 年度市立幼稚園児の 3 歳児申込み状況について

○谷口委員長

報告第 62 号 平成 28 年度市立幼稚園児の 3 歳児申込み状況について、事務局から説明をお願いします。

○大西総務課長

報告第 62 号につきましては、平成 28 年度市立幼稚園児の 3 歳児申込み状況についてでございます。

3 歳児の実施園 6 園で申込みを受付しました。定員数 25 名でしたが 5 園が定員を超える申込みがあり、抽選をしました。もう 1 園は、定員数と同数の申込みで抽選はありませんでした。

○野口委員長職務代理者

事務局として、これくらいの待機が出ることは見通していましたか。

○大西総務課長

平成 31 年度 19 園まで順次広げる計画ですので、気持ちとしましては、もっと申込みがあつてほしかったです。

○川岸委員

岸城の校区は広いですが、朝陽や中央校区からの申込みは多かったですか。

○大西総務課長

岸城幼稚園の本来校区の申込みが 37 人、浜校区からは 1 人、朝陽校区からは 4 人、東光校区からは 10 人でした。

常盤幼稚園は、光明と常盤校区ですが 45 人中 42 人が常盤校区の方でした。山直北幼稚園で山直北校区は 23 人で、城東校区からは 1 人、山直南校区からは 1 名でした。校区によって申込数も違いますので、次にどの園で 3 歳児を実施するのか申込み状況を分析したうえで、と考えています。

○川岸委員

送迎などの条件的なことでも申込まなかったこともあると思います。

○中野委員

平成 29 年度以降も今年の 6 園も継続して受け入れていくのでしょうか。

○大西総務課長

今年の 6 園については、平成 29 年度以降も継続します。

○野口委員長職務代理者

幼稚園教育への期待もあると思います。来年度の保育内容が重要になると思います。3 歳の保育については、4、5 歳児と比べても厳しいと思います。保育内容を保障していかないと、市民に落胆されると思います。保育の充実については喫緊の課題だと思いますので、よろしくお願いします。

報告第 63 号 大阪体育大学との連携協定の締結について

○谷口委員長

報告第 63 号 大阪体育大学との連携協定の締結について、事務局から説明をお願いします。

○大西総務課長

報告第 63 号につきましては、大阪体育大学との連携協定の締結についてでございます。

大阪体育大学とは、これまでも教育分野で連携協力してきたところですが、より一層の連携を図る、双方の発展に寄与する目的として協定を締結する話を進め、今回話がまとまりましたのでご報告します。

締結は、11 月 4 日、大阪体育大学で行います。

○中野委員

2018年問題で18歳人口が減少に関心を示しています。2020年にはさらに進みますので、一層深刻だということです。

文部科学省は、国立大学5割で学校再編、うち20大学での中期計画案では人文社会学経営学部の見直しがあるということです。一方、私立大学では、グローバル化や地域貢献の支援を強化する方針です。また、教員養成に関しては、中教審で従来の教育実習だけでは教育現場の体験不足なので学校インターンシップを必要な単位として、平成29年度から実施を目指すということです。11年前に勤めていた大学で、スクールインターンシップとして単位を認めて、教員採用試験の際のエントリーシートに反映するという事で学生に指導していました。今年の春に教育学部を設置しました大阪体育大学との連携協定につきましては、事務局が迅速に対応してこのような運びになったことは非常に喜ばしいことだと思います。今までは和歌山大学との協定だけでしたので、大学側の事情から言いますと、これから大学との連携がもっと増えていくというふうに思います。また、学校現場から要求度の高いスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーについて、臨床心理士の養成課程の大学院をもっている大学と連携の道が通っていますので、今回のような迅速な対応で協定を実現していただきたいと思います。

○谷口委員長

双方にメリットがあるということで、そういう連携を増やしてもらえればと思います。

報告第64号 平成27年度「人権週間」(12月4日～10日)に関わる行事の実施について

○谷口委員長

報告第64号 平成27年度「人権週間」(12月4日～10日)に関わる行事の実施について、事務局から説明をお願いします。

○阪本人権教育課長

報告第64号につきましては、平成27年度「人権週間」(12月4日～10日)に関わる行事の実施についてでございます。

一つ目は、“人権を考える市民の集い”が、12月5日午後2時から4時まで、人権を守る作品の表彰及びNHK手話ニュースキャスター 中野様の講演を行います。広報紙で周知をさせていただきます。

二つ目は、“人権を守る作品展”で12月4日から6日までの午前10時から午後5時まで、マドカホールにおいて、標語とポスターの展示ということで子供たちの作品を展示させてもらって人権に関して考えていく機会をとることをしています。ここで展示したものを巡回ということで、平成28年1月14日から20日まで春木市民センター、1月15日から21日まで桜台市民センター、2月3日から9日まで東岸和田市民センター、11日から17日まで八木市民センター、17日から23日まで山直市民センター、順に作品展を実施する予定であります。

三つ目は、人権週間の記念品として子供たちの中で優秀な作品である標語1点、ポスター6

点をクリアホルダーの両面に印刷したものを市内の幼児、児童、生徒及び教職員に配布します。クリアホルダーは頻繁に使うものですので、見ながらもう一度人権について考える意識づけになると思います。

最後の四つ目、街頭啓発につきまして、12月1日に岸和田駅とラパーク、2日に久米田駅とトークタウンでポケットティッシュ等を配布しながら市民の皆様に啓発活動を実施いたします。

○谷口委員長

講演にもありますように“心のバリアをはずして”ということが難しく、小さい時からバリアを開くという正しい知識が前提だと思います。そういう活動をしていくことは有意義だと思いますので、よろしくお願いします。

報告第 65 号 平成 27 年度 岸和田市青少年問題協議会事業について

○谷口委員長

報告第 65 号 平成 27 年度岸和田市青少年問題協議会事業について、事務局から説明をお願いします。

○西尾生涯学習課参事

報告第 65 号につきましては、平成 27 年度岸和田市青少年問題協議会事業についてでございます。

一つ目、「暴走族追放・少年非行防止強調月間」「第 65 回“社会を明るくする運動”強調月間」市民集会結果について、平成 27 年 7 月 11 日（土）にマドカホールで開催しました。参加者数は、508 名です。内容は、作文の表彰と水谷先生による「あした、笑顔になあれ」の講演です。

二つ目、「暴走族追放・少年非行防止強調月間」の街頭啓発を、7 月 18 日（土）に岸和田駅前、岸和田カンカン、春木ラパーク岸和田、トーク岸和田で行いました。参加者数は、約 80 名です。

三つ目、第 2 回青少年問題協議会を 10 月 21 日（水）に市立公民会で開催しました。青少年に関してのご意見をいただきました。

四つ目、岸和田市・小田原市青少年活動交流事業（案）についてです。これは、岸和田市・小田原市の両市が、青少年活動友好都市としての交流を通じて、青少年の視野を広げるとともに、両市の友好を深めるものです。今年度は、岸和田市から小田原市へ 11 月 14 日から 15 日に訪問いたします。参加者は、小田原市の大学生以上の青少年リーダー、岸和田市も同年齢の青少年カウンセラー等です。

○谷口委員長

水谷先生は、非常に有名な方です。二つ目の人数は、4 か所の街頭啓発で声をかけた人数です。

○西尾生涯学習課参事

そうです。主には、保護司会及び更生保護女性会が中心となって活動していただいております。

○谷口委員長

四つ目の交流事業は、違った視点でいろいろな情報を得ることもあるかと思しますので、その報告について期待したいと思います。

報告第 66 号 成人式の開催について

○谷口委員長

それでは報告第 66 号 成人式の開催について、事務局から説明をお願いします。

○西尾生涯学習課参事

報告第 66 号につきましては、成人式の開催についてでございます。

成人の日を迎えるにあたり、本市在住の新成人を招待し、成人としての認識を深めることを促し、前途を祝福激励する場とするものです。日時は、平成 28 年 1 月 11 日の午前 11 時から 12 時 30 分で、午前 10 時 30 分から受付します。会場は、岸和田市総合体育館で、全市一斉に 1 回で実施いたします。対象者は、平成 7 年 4 月 2 日から 8 年 4 月 1 日までに生まれた 2,112 人（平成 27 年 10 月 1 日現在）で、男子 1,018 人、女子 1,094 人です。内容は、会場内に入っただくために、お祝い演奏を行い、山直南こども園の園児によりますマーチング及びくす玉割りを行います。その後、国歌斉唱などを行い、最後にチアリーダーを行う予定です。受付などにつきましては、PTA協議会、青年団協議会、青少年指導員協議会及びこども会育成連絡協議会の協力をいただきます。周知につきましては、12 月に町会・自治会回覧、広報きしわだ 11 月号及び市ホームページを考えています。

○谷口委員長

内容の順番を昨年と入れ替えたことは良い判断だと思います。

○野口委員長職務代理者

新成人が受け身なので、新成人から発信するようなものが何かあればと思います。

○西尾生涯学習課参事

新成人の方を対象にメッセージを募集しますが、難しいです。実際には、公民館を利用している方が成人になられる時に働きかけてメッセージを読み上げてもらったりしています。

○谷口委員長

今回の成人式で、新成人が話をする場はないのでしょうか。

○西尾生涯学習課参事

メッセージを募集はしますが、現段階では入れていません。

○谷口委員長

入る可能性はあるということですね。

○西尾生涯学習課参事

そうです。

報告第 67 号 第 35 回市民スポーツカーニバルの開催について

○谷口委員長

報告第 67 号 第 35 回市民スポーツカーニバルの開催について、事務局から説明をお願いします。

○直スポーツ振興課長

報告第 67 号につきましては、第 35 回市民スポーツカーニバルの開催についてでございます。子供からお年寄りまでが文化の日に寄っていただき日常生活の健康づくりに寄与していただければと考えております。テーマは、今年も「さわやかな風・さわやかな汗・みんなでスポーツ」としており、場所は、中央公園スポーツ広場になります。

今年のプログラムに、全体説明会の中でも賛同を得ました“じゃんけん大会”を入れさせていただきます。

○中野委員

多くの市民が参加できるように上手く種目を考えていると思います。プログラムの内容に“スリータッチボール”とありますが、バドミントンとバレーを合わせたものですか。本来は屋内競技ですね。

○直スポーツ振興課長

そうです、屋内競技です。

○谷口委員長

いろいろな世代が楽しめるように工夫していただきたい。良い天気の中であると精神衛生上も良いと思います。

報告第 68 号 和泉葛城山ブナ林自然観察ハイキングの実施について

○谷口委員長

続いて報告第 68 号 和泉葛城山ブナ林自然観察ハイキングの実施について、事務局から説明をお願いします。

○小堀郷土文化室長

報告第 68 号につきましては、和泉葛城山ブナ林自然観察ハイキングの実施についてでございます。

例年行っていますハイキングで、今年は 11 月 29 日（日）午前 9 時から午後 4 時の開催を予定しております。天然記念物のブナ林を観察しながら、ハイキングの中で自然保護の大切さを皆様にお伝えすることが目的でございます。参加費用は無料で、参加人数は定員 60 名です。申込みは、11 月 4 日からを予定しており、広報きしわだ 11 月号に掲載いたします。

○中野委員

昨年、自然資料館で和泉葛城山のブナ林の特別展を拝見しました。一番近い天然記念物というキャッチフレーズで自然の価値と魅力を紹介していました。今回は、直接ブナ林の観察で違った意味合いも出てくると思います。この機会に天然記念物の意義と保護について、理解を深めてもらえればと思っています。

○谷口委員長

参加者の年齢制限はありませんか。

○小堀郷土文化室長

特にございませぬ。

○野口委員長職務代理者

山頂まで行かれるのですか。

○小堀郷土文化室長

蕎原のバス停で下車し、春日橋に到着してそこからハイキングをする予定です。

報告第 69 号 企画展『たまごとにわとり』の開催について

○谷口委員長

報告第 69 号 企画展『たまごとにわとり』の開催について、事務局から説明をお願いします。

○小堀郷土文化室長

報告第 69 号につきましては、企画展『たまごとにわとり』の開催についてでございます。平成 27 年 11 月 1 日(日)から 12 月 13 日(日)まで、きしわだ自然資料館で開催いたします。学芸員の浜口様が、日本各地で集めていますニワトリの卵のコレクションを中心に見ていただき、身近な私たちの生活に欠かせない卵について興味を深めていただきたいと思います。ニワトリや身近な野鳥についても、皆様に学んでいただく機会したいと予定しています。100 個以上の卵を展示する予定で、詳細を説明しますパネル展も用意しております。広報きしわだ 11 月号及び市ホームページに掲載し PR いたします。

○中野委員

ニワトリは身近な家禽ですので、どのような見方が出来るのか関心があります。ニワトリの卵は、30 年前と価格が変わっていないなどの観点からも面白いと思います。内容に“いろいろなたまご”とあって、家禽や野鳥などの卵を紹介とありますが、特に関心を持っていますのが、大学の先生がダチョウの卵を使って世界から注目されています抗体産生をする研究していますが、そういう内容もあるのかな、と楽しみにしています。

○野口委員長職務代理者

以前の学習指導要領には、6 年生でニワトリの卵を孵化させてひよこを育てる活動が入っていましたが、今はありません。そういう活動で、子供たちは自然そのものに触れることが出来

ました。学校の方へも何らかの形で情報をお知らせしていただきたい。

○小堀郷土文化室長

はい。考えたいと思います。

○谷口委員長

子供たちはスーパーで並んでいる卵しか見ていないと思いますので、活かしていただければと思います。

○小堀郷土文化室長

様々な機会が、学びになれば良いと思っています。

報告第 70 号 図書館への寄附について

○谷口委員長

報告第 70 号 図書館への寄附について、事務局から説明をお願いします。

○玉井図書館長

報告第 70 号につきましては、図書館への寄附についてでございます。

品名は、曾我廼家五郎関係資料 145 点です。平成 27 年 9 月 25 日に図書館郷土資料の充実のために寄附をいただきました。寄附いただきました資料の一部を 11 月 25 日の図書館まつりで展示したいと思っております。

○谷口委員長

図書館まつりの後、どこかに展示しますか。

○玉井図書館長

その後、1 か月程度はそのまま展示しようと思っておりますが、それ以降はまだ決まっていません。

○中野委員

資料がすごいです。これだけの資料は価値があると思います。

○谷口委員長

報告事項は以上ですが、他にご質問等ございませんか。
ないようですので、それでは議案に移ります。

議案第 56 号 平成 27 年度岸和田市教育委員会表彰の被表彰者等の決定について

○谷口委員長

議案第 56 号 平成 27 年度岸和田市教育委員会表彰の被表彰者等の決定について、事務局から説明をお願いします。

○大西総務課長

議案第 56 号につきましては、平成 27 年度岸和田市教育委員会表彰の被表彰者等の決定についてでございます。

岸和田市教育委員会表彰規則に則りまして、11月3日の文化の日祝典において、教育関係者、生徒、団体など、教育の振興に顕著であった方々について、表彰状または感謝状の被表彰者の決定を審議していただくものです。今年度の表彰状贈呈者は、団体が13団体、個人が81名で、感謝状贈呈者は、個人92名となっております。各課より岸和田市教育委員会表彰規則の内規に沿った形で、ご推薦をいただいております。承認をいただき、表彰状もしくは感謝状の贈呈を行いたいと考えております。

○谷口委員長

一度表彰されるとしばらくは表彰されないのでしょうか。

○大西総務課長

市展の部分についてだと思いますが、部署が別になりますので確認できていません。

○中野委員

図書館活動は、文化の発信源だと思います。昨年、図書館友の会の講師3名の方に感謝状を贈呈しましたが、今回は該当者がいなかったのか、規定の確立が出来ていないのか尋ねます。できれば、文化活動を広めてもらうことから、表彰状や感謝状を贈呈する対象を広げてもらったかどうかと思います。

学校教育部門の研究論文の表彰者が、特選、入選を含めて数が多いので、非常に良い傾向だと思っています。“子ども理解からはじめるチーム支援”で3名の方が表彰される中で、講師の方が担任で2名が支援チームだったのか、3名が核になって出来た体制なのか、その辺を教えてください。他の学校でも参考になることだと思います。

○須賀学校教育部長

学校づくりのところで、3名が核になっております。それぞれの学校の柱となる長です。以前から3名で取組んでいて、今までしてきたことをまとめ、それを発信して他の学校にも広めよう、ということでされました。

○玉井図書館長

関わってくれています団体も多いので、出来るように考えていきたいと思っています。

○中野委員

多くの方の支援で成り立っていると思いますので、是非、ルール作りをしていただき、毎年、表彰状や感謝状の贈呈者が出るように整えていただきたい。

○谷口委員長

ほかにご質問等ございませんか。

特にないようですので、原案のとおり承認いたします。

議案第57号 岸和田市学校給食センター設置条例の制定について

○谷口委員長

議案第57号 岸和田市学校給食センター設置条例の制定について、事務局から説明をお願い

いします。

○大西総務課長

議案第 57 号につきましては、岸和田市学校給食センター設置条例の制定についてでございます。

現在、建設しております中学校給食実施のための給食センターについてでございます。センターは今年度末の完成予定で事業を進めています。来年度からセンター内で調理等の業務を始めたいと考えております。給食の提供は、来年度二学期からの予定で進めています。市の施設ですので、設置条例が必要になることから本会議に提案するものです。内容は、設置の目的、名称及び位置、必要な職員の配置についてを規定し、来年 4 月 1 日から施行ということで条例を整備したいと思っています。

○谷口委員長

建設は順調に進んでいるということですね。

○古谷学校管理課長

はい。

○中野委員

当初の計画では、栄養士 3 名を府費で賄う案があったと思います。その後、変わりはありませんか。

○大西総務課長

栄養士の配置につきましては、今の児童数から府より配置されるのは 2 名です。その 2 名で 11 中学校を見てもらったり、センターの調理状況を見てもらうには少し厳しいので、市費で職員を手厚くしたいと考えているところです。配置人員数につきましては、今後、関係課と協議していくことになります。

○中野委員

アレルギー食の対応は難しいので、何かあってからでは遅いので、手厚くしていただきたい。中学校の配膳室については順調に進んでいますか。

○古谷学校管理課長

教室の改修につきましては、完了しております。新たに建てる中学校が 4 校ありまして、現在、建設中でございます。

○谷口委員長

他にご質問等ございませんか。

特にないようですので、原案のとおり承認します。

○谷口委員長

これもちまして本日の定例教育委員会会議を閉会します。

閉会 午後3時35分

本会議録に相違ないことを認め署名する。

委員長

署名委員